

【第3回研究開発及び生産・流通部会（平成25年7月19日）】

- 不活化ポリオワクチンのⅡ期接種に向けた研究開発について審議し、下記の結論が得られた。
 - ① 今後、ポリオに対する抗体保有率の経年変化についてさらに調査を実施していくとともに、Ⅱ期接種の必要性及び最適な接種時期について引き続き検討が必要である。
 - ② 上記検討の結果、Ⅱ期接種が必要となる可能性があり、その場合に迅速にⅡ期接種を導入できるように、製造販売業者にワクチンの開発に着手していただくのが望ましい。

【第6回研究開発及び生産・流通部会（平成25年11月28日）】

- 開発優先度の高いワクチンに選定された百日せき・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ混合（DPT-I PV）ワクチンを含む混合ワクチンについて、開発するにあたっての接種時期を審議し、下記のとおり開発の方向性を示した。
 - ・ 初回接種については、現在のHibワクチンの接種時期（生後2月-7月に開始し、20日から56日の間隔をおいて3回）にあわせる形で接種時期を検討する方針とする。